



【豚熱ワクチン】接種日齢の変更について

！！30～40日齢に設定しましょう！！

令和2年9月の群馬県での発生以降、**ワクチン接種農場での豚熱患者発生が9県15農場**と継続しています。（R3.10.25現在）

愛知県では昨年度より引き続き、農場での子豚の移行抗体価、母豚のワクチン抗体価を測定し、**ワクチン接種適期の推測に努めています。**

✿上半期調査対象となった管内13農場の調査結果では**全て【30～40日齢】が接種適期**でした。

✿上半期管内3市町村521頭の母豚中和抗体価の調査の結果、抗体価のピークは128倍※となり、**全体としても【30～40日齢】が接種適期と判明**しています。

※過去の調査報告と比較しても、平均的な傾向

まだ40日齢以上で接種している方は30～40日齢接種に変更しましょう！

時期	出来事	参考資料
R2.8.31	農林水産省から【接種日齢50～60日が望ましい】と通達	第60回牛豚疾病委小委員会
R2.9.26	群馬県（通算59例目）での発生	
～	R2年度内5件の発生	
R3.4以降	農場毎母豚30頭の中和抗体価の調査開始	
R3.6.30	農林水産省から接種日齢の前倒しについて【柔軟に検討】するよう通達	
R3.7.5	管内3農場における母豚30頭の中和抗体価の測定解析結果還元 接種適期30～40日齢	周知FAX及びメール
R3.9.22	管内上半期母豚中和抗体価調査結果を還元（27農場521頭） 接種適期30～40日齢	周知FAX及びメール

✿抗体価の分布は農場ごとに傾向が異なるため、検査についてご希望の方は東部家保までご相談下さい。

✿ワクチン接種間隔、頻度についてのご要望もありましたらご相談下さい。